

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	堀内子ども会育成会 夏季研修		
年月日	平成22年8月1日(日)	場所	真岡市自然教育センター
参加者	子ども、保護者、区長	人数	57人

関連する憲章の条文

子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

実践の内容

子ども会育成会では、毎年、子どもと大人が楽しく過ごせるように、夏季研修を企画しています。

8月1日、自然教育センターを利用して、アユのつかみどりを行い、そのアユを塩焼きやアユめしとして食べました。また、流しそうめんも行いました。

子どもたちに大人気のアユのつかみどりは、鬼怒川のせせらぎを利用して行いました。川の上にネットを張り、その中に100匹近いアユを放流しました。冷たい水に大はしゃぎしながら夢中になってアユを獲りました。大人が魚のいる場所を教え、子供がそれを獲るといったような連携も見られ、放流されたアユ全てを獲ることができました。

獲ったアユを利用し、塩焼き作りとアユめし作りを行いました。アユめし作りは竹筒を使用しご飯を炊きますが、みんな初めてで、説明を聞きながら活動しました。のこぎりやのみを使い、竹を加工して使えるようにしますが、みんなで協力し合いながら作りました。出来上がったアユめしはとてもおいしく、塩焼きとともにあっという間に食べてしまいました。



出来上がったアユめし

最後は流しそうめんでした。竹を割り、10メートル以上につなぎ合わせ、上から水とともにそうめんを流します。流れてくるそうめんをなかなかとることができずにいる子どももいましたが、必死になりそうめんをはしでつかまえることができました。誇らしげにとることができたそうめんを、おいしそうに食べる子どもの姿が印象的でした。

鬼怒川の自然を生かした中での活動は、とても楽しく過ごすことができました。



流しそうめん



アユのつかみどりの様子



竹筒の準備